YOKOTE JCニュース

地域と創ろう!
明るい横手の創造に向けて

～そしてJAYCEEが未来への架け橋になる～

2010 新年号

2010年度を迎えて

理事長　鶴田　典治

新年明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。また、日頃より当青年会議所に対しまして多大なるご支援・ご協力を賜り心より御礼申し上げます。今年度もこれまで同様に「奉仕・修練・友情」のＪＣ三信条の基、明るい豊かな社会の実現に向けて全会員でＪＣ運動を邁進してまいります。

今年度の横手青年会議所は、2006年度の創立25周年に提唱したまちづくり運動指針「UNITY Concept '06」の基、独自性のあるまちを目指して運動をしていきます。我々はその中で、昨年に地産プロジェクト「燃えよ！！農魂　～農から興す横手の未来～」を立ち上げました。昨年は横手の農産物を東京に売りに行ったり、以前から行っていた農業者の方々と交流をもったりという事業をしてきましたが、それを今年度は検証し、まちづくり事業として発展・発信していきたいと考えています。また、12年続いた「一戸一かまくら運動」ですが、今年度も継続事業の一つとして行っていきます。横手南小学校から横手幼児園付近までのミニかまくらロードの製作に関しても、今年はこれまで以上に市民ボランティアの方々や他団体との繋がりを大事にして、更には観光客の皆さんにも参加していただけるような事業にして伝統行事のかまくらを盛り上げていきたいです。

現在、子どもを取り巻く環境は日々変化しており、私が幼いころとは大きく変わっています。いろいろと変化している世の中ですが、子どもたちの笑顔はいつの時代も変わらないものだと思います。その笑顔を絶やさないためにも、我々大人が子どもたちに何をしてやれるかを考えていかなければなりません。そこで今年度は、子どもたちに自然と触れ合うことで得られる楽しさや自然の大切さを感じてもらい、未来へ向かって明るく元気に進んでくれるような、おもいやりのある人間に育ってくれるような事業を行っていきます。

そして、その子どもたちに、これから生まれてくる子どもたちへ自然の大切さを学び、「おもいやりのこころ」や「感謝の気持ち」を伝えてもらいたいと思っています。

結びとなりますが、これらの事業を成功させるためには我々の力だけではなく、地域住民である皆さんのご協力が必要です。スローガンにもあるように、「地域(とも)」と一緒に明るい横手市の創造に向けて頑張っていきたいと考えていますので、これまで以上のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

副理事長を担当するにあたり

副理事長
佐野　雅通

今年度会員拡大・交流事業を担当の副理事長を仰せつかりました。2010年度は、鶴田理事長を筆頭に正会員43名での船出となります。私の入会時2002年には73名の会員がいたものですから、当時と比べるといささか寂しさも感じられます。

委員会年間事業計画書の基本方針・目標にも記載の通り「みんなで目標30%拡大　～広げようＪＣの輪～」とあるように、会員が力を合わせて30%の会員拡大することを目指しております。また、新入会員との研修・交流事業を通じ、この会と私たちの「横手」を大切に思える会員を育成できたら素晴らしいことであると考えております。

次に、毎年のＯＢと現役・新入会員相互の交流についても、会員拡大と並行して行うことになりますが、会員拡大の成功による大きな波を起こすことにより、今まで以上にＯＢの皆様と私たち現役・新入会員の絆が深まればと考えております。

来年は(社)横手青年会議所30周年の年に当たります。ＪＣ関係者みなさまのお力をお借りし、会員拡大を成功させることにより30周年の架け橋となればと考えております。みなさま何卒一年間よろしくお願いいたします。

副理事長
寺田　創

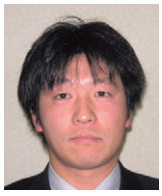
2010年度、鶴田理事長のもと「青少年のこころ育成委員会」の担当副理事長を務めさせていただくことになりました。

昨今の先行きが見えない混沌とした時代状況が続く中、昨年は久しぶりに政権交代がおき、世の中はこれから大きく変化していこうとしています。

若い世代の集まりである私たち青年会議所に求められる役割というものは今後さらに大きくなっていくものと思われます。

今年度のスローガン　地域(とも)と創ろう！　明るい横手(まち)の創造に向けて(そしてＪAYCEEが未来への架け橋になる)のもと、副理事長としての自分の役割をよく自覚し、皆様と一緒に事業の達成にむけてしっかりと努力して参りたいと思います。

一年間、ご支援とご協力を何卒よろしくお願いいたします。



副理事長
高橋　司

2010年度社団法人横手青年会議所、鶴田理事長を始めとする執行部の一員として副理事長を拝命しました。まちづくり系の横手の地域創造委員会を担当いたします。継続事業であるかまくらでは新しい取り組みを行いながら、今後の事業の方向性を模索していきたいと考えています。また横手市の基幹産業である農業と商工業との連携を切り口に、経済や資源の循環から生まれる地域再生のための一助となるような事業を行ってまいります。

一年間よろしくお願いします。

年頭のごあいさつ

横手市長　**五十嵐忠悦**

新年あけましておめでとうございます。

２０１０年の新春を迎え、皆様には健やかにお過ごしのこととお慶び申し上げます。

昨年は、９月にＢ級ご当地グルメの祭典「Ｂ－１グランプリ in　横手」が当市で開催され、皆様ご承知のとおり、横手やきそばが見事ゴールドグランプリを獲得いたしました。この２日間を通して、全国各地から２６万７千人のお客様にお越しいただき、多くのメディアに取り上げられるなど、食のまち横手の魅力を存分にアピールできたことは大変うれしく思っております。これもひとえに、当イベントの運営にご尽力いただきました横手青年会議所の皆様をはじめとする地元の皆様のおかげと感謝いたしております。この盛り上がりを一時のものとすることなく、引き続き、まちづくりの柱である「食と農からのまちづくり」を積極的に進め、基幹産業である農業を中心に、商業、工業一体となった産業振興に力を入れて参ります。

一昨年から続く世界規模の経済情勢悪化の中、横手市でも依然として厳しい雇用･経済状況が続いておりますが、必要な諸施策を迅速に講じ、１日も早く住民のみなさんが安心して生活できるよう最大限の努力をして参る所存です。横手青年会議所の会員の皆様には、柔軟な感性と行動力で横手のまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が皆様にとりまして実り多き一年となりますよう、また会員の皆様方のますますのご発展とご健勝を心からお祈り申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ　―地域振興・会員事業所の支援そして社会貢献を柱に―

横手商工会議所　会頭　**岩佐　佳政**

２０１０年の年頭にあたり謹んでごあいさつ申し上げます。

アメリカ発の経済・金融危機に端を発した世界的不況が日本を直撃、日比谷公園派遣村での炊き出しというショッキングな出来事で明けた２００９年は、派遣切りと就職難、生活保護受給者の増、新型インフルエンザの流行など、暗雲の中でスタートした年でした。

また、国民が期待した政権交代も、公共事業の見直し、事業仕分け、補正予算の再編成など、国民生活に大きな影響をもたらし、先行き不安が拭いきれない状況で推移した１年でもありました。

横手市も、これらの影響を免れることはできず、高校生の県内就職は過去に例を見ないほどの厳しい状況が続き、さらに、年末には従業員削減を実施する事業所もでるなど、地域の雇用に大きな不安を与えております。

政府には、早急に、先行き不安を抱えている地方の中小企業の懸念を払拭し、未曾有の経済危機を乗り越えるべく有効な政策をお願いしたいものです。

一方、横手商工会議所にとりましては、２００９年は、数多くの事業に、三役・役職員一体となって『チャレンジ』した年でした。

例を挙げますと、①横手市を全国区へと押し上げ、最高かつ最大の効果を挙げた『第4回B-1グランプリin 横手』の開催、②①を受けて当所の企画・運営による『C-1カーニバル』及び『D-3サミット』の開催、③学生びいきに続く市民サービス第２弾『シニア笑店街』事業の開始、④２０２０委員会が中核となり進めていた『コミュニティFM放送局』設立の本格化、⑤TRY21(株)解散と『街づくり事業部TRY21』発足及びTRY事業の継承等々、枚挙に暇なしと言ったところです。

特に、B-1関連では、２日間で２６万７千人、C-1だけでも６万８千人の観光客が来横、経済効果も２０億円(実行委員会発表)に上るなど、大成功に終ったことはご承知のとおりですが、『地域振興』という目的に沿った当所の事業活動の一環として、多くの市民の方々に印象付け、認識いただけたものと確信しております。

さらに、２０１０年度は、創立５５周年記念事業として『５･GOプラン』実施を表明させていただきました。

これは、創立５５周年の『５５』を『５･GO』と置き換え、横手市民に広く共感される『５』つの『社会貢献』事業を実施(GO！)することにより、『横手を元気にしよう、元気を取り戻そう・・・』とするものです。

その第１は、横手の歴史、文化、観光、産業、食文化などのきめ細やかな地域情報を市民に向けてリアルタイムに発信するとともに、災害情報の発信や防止にも貢献することを目的とした『横手コミュニティFM放送局』の設立

第２は、地域の将来を担う子供たち(小学５～６年生対象)が模擬株式会社を設立し営業活動を展開、その中から経済・商業活動のすばらしさ、納税することの大切さを体験していただき、将来の企業家を育てることを目的とした『ジュニア・エコノミー・カレッジ』事業の実施

第３は、少子高齢化・晩婚化の進む昨今、会員企業の後継者・社員に出会いの場を提供し、よき伴侶を見つけ結婚することにより、人口増ひいては企業の安定的成長・地域の活性化を目指すことを目的とした『会議所が応援！“婚活”事業＝集まれ！出愛パーティ(仮称)』事業の実施

第４は、当所主催のC-1カーニバル大成功と、継続実施要望に応えて、県内５商工会議所、市内商工会、青年部、女性会との連携により、県内各地の美味いものや、横手市の物産・観光等を全国発信することを目的とした『大商業まつり(仮称)』の開催

第５は、重点『要望事項』として①秋田自動車道横手ＩＣ～大曲ＩＣ間に横手西インターチェンジ(仮称)設置、②県立衛生看護学院の４年制大学移行

以上の５項目を『５･ＧＯプラン』として、産業の振興だけでなく、市民に共感される事業＝『社会貢献』事業として実施してまいります。

また、『会員事業所への支援』という、もう一つの柱実現のため、①中小企業相談所を中心として、女性経営者支援チームの活用等によるきめ細かい巡回による小規模事業者への経営支援、②小規模事業者の減少に歯止めをかけるべく新規創業支援や事業承継支援、③不況・経営不安・雇用不安払拭のための的確な方策等の提言、関係機関への陳情・要望、④商工ニュースよこて・市民版等による組織・事業の周知を通じて、横手市民に理解・支持される『市民商工会議所へのチェンジ(変革)』、等々に力を傾注してまいりたいと考えております。

前述したように、私たち執行部がキーワードとして掲げております『地域振興』、『会員事業所への支援』という『二つの柱』に、２０１０年度は、新たに『社会貢献』をキーワードに加え、継続事業の更なる充実と、会員事業所の基盤強化、地域活性化、新規事業『５･GOプラン』実現に向けて、事業展開を図ってまいりたいと考えておりますので、(社)横手青年会議所会員皆さまの当所事業へのご指導・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

２０１０年、本年は不況に臆することなく、執行部・役員・議員・職員一丸となって横手市の発展と、会員事業所の支援に、さらに『積極・果敢に挑戦』してゆくことをお誓い申し上げますとともに、(社)横手青年会議所会員皆さまの益々のご発展とご活躍をご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

専務理事・各委員長あいさつ

専務理事

佐藤　稔通

2010年度、鶴田典治理事長のもと専務理事を仰せつかりました。

初めての三役ですので、みなさまから沢山ご指導いただくことになると思いますが、楽しく学びながら、明るく分かり易い会の運営を目指します。

また、担当させていただく総務・事務局は公益社団法人格取得に向けた取り組みをする上での役割がますます重要になるとともに、会のスムーズな運営に関して大変重要な責務を負っております。松川事務局長をはじめとする局員の皆様と共に頑張っていきたいと思っております。一年間よろしくお願いします。

青少年のこころ育成委員会

委員長　高橋　　功

新年あけましておめでとうございます。

今年度、青少年のこころ育成委員会の委員長を努めさせて頂くことになりました。今年、当委員会では子供達と一緒に自然と触れあい、自然の大切さ、楽しさを感じて貰えるような事業を行う所存です。また、保護者の方々にも参加して頂くことにより、親子の絆をより一層深めていけるような事業を行いたいと思います。

私は独身で子供もいないため、子供達の考えている事や接し方がよくわかっていませんが、委員会メンバーや会員の皆様に助けて頂きながら、精一杯頑張っていきたいと思います。一年間どうぞ宜しくお願い致します。

会員拡大・交流委員会

委員長　藤井　　亮

新年明けましておめでとうございます。

今年度、会員拡大・交流委員会の委員長を務めさせていただく事になりました。ここ数年続いている会員の減少は横手青年会議所の危機的状況だと思います。当委員会が一年を通して会員拡大・交流活動を行っていく中で、会員またはＯＢ会員からの候補者の情報提供が必要不可欠となります。その為には、会員同士とそのご家族も含め、交流できるよう全員が楽しめる企画を開催していきたいと思います。また、現役会員とＯＢ会員が楽しく密に交流できる企画に取り組んでまいります。些細な情報でも構いませんので、情報提供をお待ちしております。

今年一年間、当委員会が主体となって積極的な会員拡大・交流活動を実施していく訳ですが、横手青年会議所会員一丸となっての会員拡大・交流活動となっていく事を期待しておりますので、皆様ご協力よろしくお願い致します。一年間よろしくお願い致します。

横手の地域創造委員会

委員長　深澤　重史

あけましておめでとうございます。

今年度、横手の地域創造委員会の委員長を務めさせていただきます。

当委員会では、事業としては2月例会となります「かまくら事業」、そして2009年度からの地産プロジェクト燃えよ!!農魂～農から興す横手の未来～の2年目として農工商一体となった他団体との連携、取り組みを主として取り組んでいきます。

初理事、初委員長ということで、手探りの状態ですが、委員会メンバーそしてLOMの皆様にご指導いただきながら楽しく、そして有意義な一年になればと考えております。また、私個人といたしましても一人の人間として成長していければと思います。

一年間よろしくお願いいたします。

長期ビジョン政策室

室長　本戸　大輔

新年明けましておめでとうございます。今年度、長期ビジョン政策室の室長を務めさせていただくことになりました。

今年は新公益法人制度の施行に伴い、横手青年会議所が公益・一般の法人制度のどちらかを取得するかを決める重要な分岐点にさしかかっています。全会員とこれからの横手青年会議所を考えて決めて行きたいと思います。

また、今後五年間の運動指針の作成につきましては、新公益法人取得と連動させながら、まち・人・文化との関わり方を考えて進めて行きたいと思います。

委員会メンバーと楽しみながら、新公益法人の取得と運動指針の作成を頑張りますので、ご指導宜しくお願いします。一年間宜しくお願い致します。

総務・事務局

局長　松川　　剛

新年あけましておめでとうございます。

本年度、社団法人横手青年会議所総務・事務局長を務めさせていただくことになりました。

佐藤専務理事と局員でどっしりとスクラムを組み、一年間推し進めていきたいと思います。

多くの会員が、家庭や仕事と並行してＪＣ活動を行っております。今後に控えます様々な事業が成功となるように、そのための時間がおろそかにならぬように、各委員会の皆様と協力していきたいと思っております。どうぞよろしくお願い致します。

ありがとうございました。

元旦行事

2009年大晦日から2010年元旦にかけ横手市の神明社にて、毎年恒例の元旦行事を行いました。

当日は暴風雪の予報だったため、参拝客の方々は例年より少なかったように思われます。私達横手ＪＣでは甘酒を振舞い、焚火を焚いて、参拝に来られた方々に温まっていただきました。

また本殿にて今年1年の横手青年会議所の事業の成功を祈願し、ご祈祷をしていただきました。

ミニかまくらロード製作ボランティア大募集！

今年度も我々と一緒に「ミニかまくらロード」を作っていただけるボランティアを募集しております。個人、団体を問わず、市民の皆様のご参加をお待ちしております。

日　　時●２月15日（月）　午後２時30分～
集合場所●光明寺公園内　横手青年会議所本部テント前
製作場所●横手南小学校～横手幼児園付近まで
備　　考●当日はスコップと移植ベラをご持参ください。
野外での活動になりますので防寒対策を万全にお越しください。
参加いただける方は２月８日（月）まで下記宛にお申し出ください。

エコキャンドルを作ってかまくらに灯りを灯しませんか？

エコキャンドルとは廃油で作るローソクのことです。

２月15日（月）、16日（火）の午後１時～午後７時まで光明寺公園内　横手青年会議所本部テントにおいて、エコキャンドル制作体験を行っております。

参加無料ですのでお気軽にご参加ください。（エコキャンドルは10分程度でできます。）

お申込み
お問い合わせ

（社）横手青年会議所　事務局
横手商工会議所内　担当：木匠（もくしょう）、伊藤
TEL 32-1170　FAX　32-9987　E-mail：info@yokotejc.jp

（社）横手青年会議所の事業はホームページにも随時掲載しております。JCニュースもカラーでご覧いただけます。

ホームページアドレス　http://www. yokotejc.jp/

■発行日／2010年1月19日　■発行／（社）横手青年会議所　〒013-0021 秋田県横手市大町7−18 横手商工会議所内　事務局 0182-32-1170
■企画／総務・事務局（松川剛、高橋文子、半田亜史、小松田和大、佐々木和彦）　■担当専務理事／佐藤稔通
■印刷／（株）アイ・クリエイト